



見えてきた課題

- 1 組織として高みを目指すための全職員の資質向上の難しさ
- 2 合併による財政上のメリット終了後におけるまちづくりへの投資の継続の難しさ
- 3 基礎自治体に求められる役割の多様化と拡大への対応

市民の暮らしをもっとよくするために



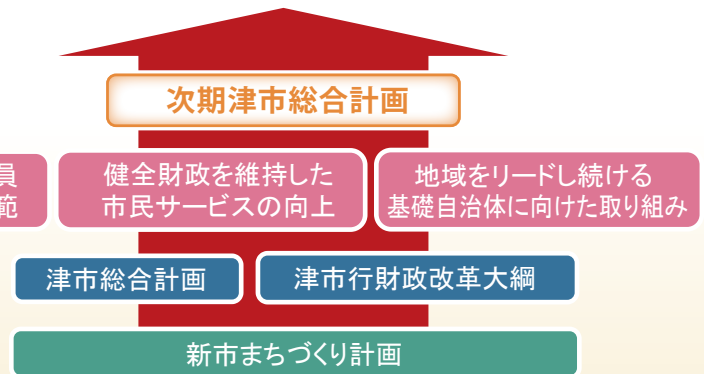
子どもたちの明るい未来が展望でき、市民の幸せな暮らしが広がり、力強い地域経済が市民の暮らしを支え続けるまちへ！

【未来に向けて】
成熟した都市として自立

【合併後10年間】
将来ビジョンの実現に向けた取り組み

【合併時】
津市の将来ビジョンの明示

市民の幸せな暮らしの実現



- ▶ 津市総合計画後期基本計画(～平成29年度)を策定
- ▶ 津市行財政改革後期実施計画(～平成27年度)を策定
- ▶ 育休代替任期付職員制度を導入
- ▶ 公共施設の総量や更新費用の予測を示す公共施設データベースを整備・公表
- ▶ 三重県の首都圏における営業拠点「三重テラス」でシティプロモーションイベント「つデイ」がスタート

- ▶ 市民の期待に確実に応えていくための行動や判断のよりどころとして「津市職員行動規範」を策定
- ▶ 職務経験者採用を開始

▶ 職員数2,500人体制を実現

H24

- ▶ ふるさと津かがやき寄附オンライン申し込みを開始
- ▶ 窓口業務の効率化とワンストップ化のため、業務委託により税務総合窓口を開設

H25

H26

- ▶ 給与所得者の特別徴収を完全実施
- ▶ ふるさと津かがやき寄附の用途に「津城跡の整備」を追加

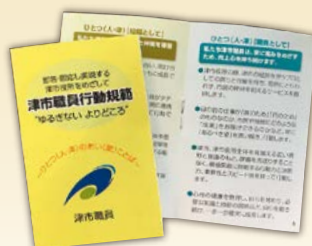
H27



▶ユニバーサルデザイン発表会



▶つデイ



▶津市職員行動規範



▶職務経験者採用による入庁者